

福島第一原子力発電所現地確認報告書

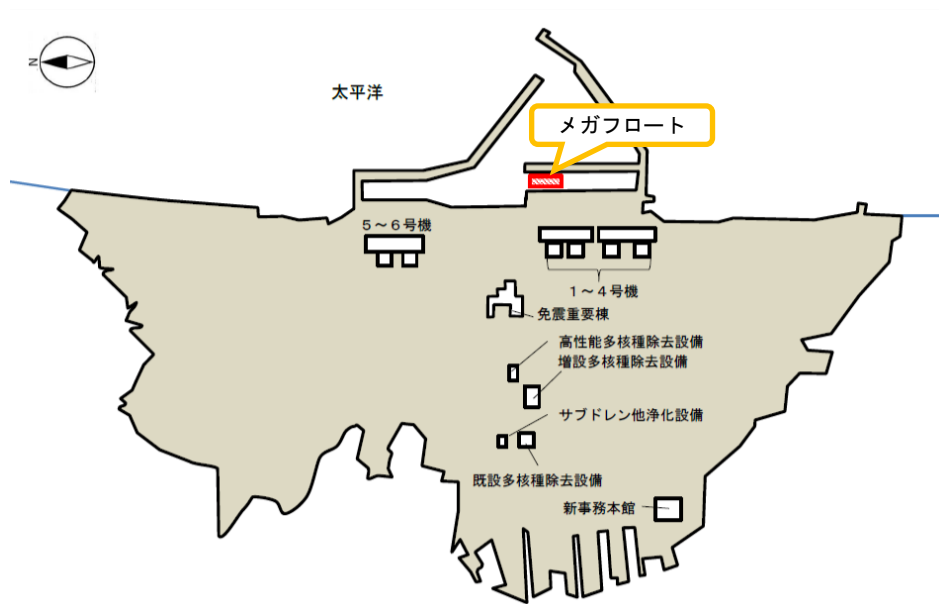
- 1 確認日
令和2年3月5日（木）
- 2 確認箇所
メガフロート（海側遮水壁近傍から確認）
- 3 確認項目
メガフロートの移設及び仮着底作業の状況

4 確認結果の概要

東日本大震災により発生した5・6号機建屋滞留水を一時的に貯留するために活用されたメガフロートについては、今後、津波が発生した際に漂流し周辺設備を損傷させるリスクがあることから、1～4号機取水路開渠内に着底させて護岸及び物揚げ場として活用される計画となっている。

これまで、メガフロートの着底マウンド造成（令和元年5月22日確認）、バラスト水処理（同年6月14日及び9月4日確認）及びメガフロートの内部除染（同年10月30日確認）が実施されており、昨日（3月4日）着底マウンドへのメガフロートの移設及び着底作業が開始されたことから、当該作業状況を確認した。

- ・メガフロートは1～4号機取水路開渠の南側（3、4号機タービン建屋側）から、着底マウンドを造成した北側（1、2号機タービン建屋側）への移設が完了していた。（写真1）
- ・メガフロート移設のために一時的に「開」としていたシルトフェンス及び魚類移動防止網は、船舶を使用して閉作業が実施されていた。（写真2）
- ・メガフロート上では仮着底のための海水注入に使用した水中ポンプ等の片付けが実施されていた。（写真3）
- ・東京電力によると、3月4日の13時40分に海水注水及び仮着底作業が完了したとのことであった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
メガフロート最北端の状況



(写真2-1)
シルトフェンスの状況



(写真2-2)
魚類移動防止網の状況
写真2-1の南側を撮影



(写真3)
メガフロート上の作業の状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。